



# 社協だより

—安心して暮らせる福祉のまちづくり—

2025

12

No.333

## ふれあい交流会開催

笑顔がつながる、ふれあいのひととき



- P2 ふれあい交流会／地域福祉課
- P3 地域交流の取り組みで広がる交流の輪／地域福祉課
- P4 サロン応援隊／地域福祉課  
認知症サポーター養成講座／地域福祉課
- P5 介護支援専門員連絡会／総務課  
福祉座談会／在宅福祉課
- P6 高齢者の生きがいづくり／シルバー人材センター
- P7 社協情報／もの忘れ相談室、心配ごと相談など
- P8 地域サロン／田中蕎会、平田さわやかサロン  
地域を支えるふくしの輪／セブンイレブン寄贈

### 12月の社協だより

今月号の表紙はふれあい交流会です。町内にお住まいの65歳以上のお一人暮らしの方を対象に今回は運動会を行いました。笑顔あふれる交流ができました。

その他、「サロン応援隊」や、「認知症サポーター養成講座」についてご紹介しています。

# ふれあい交流会 地域福祉課



左から村口さん、稲富さん。広安・津森校区での選手宣誓の様子



ふれあい音頭を皆でいっしょに！

町内に在住する一人暮らし高齢者を対象に、外出の機会を提供するとともに、レクリエーション活動を通じて楽しい時間を過ごし、参加者同士の交流を深めることを目的とした「ふれあい交流会」を今年も開催しました。

交流会は毎年恒例の行事で、今年度は10月31日（金）の飯野・木山校区、11月5日（水）の広安・津森校区、11月6日（木）の広安西・福田校区の3回に分けて実施しました。

今回は参加者同士が自然に交流できるように、レクリエーション活動として運動会を企画しました。競技（玉入れ、うちわでボール渡し、大玉転がし、パン食い競争）を通じ笑顔があふれ、会



大玉転がし！（手渡し！）

場は和やかな雰囲気になりました。参加者からは「久しぶりに体を動かし、みんなと楽しい時間を過ごせた」「いるだけで楽しかった」「サロンに行ってみようかな」といった声が寄せられ、交流会の意義が改めて感じられる催しとなりました。

また、多くの民生児童委員の協力もあり、地域のつながりを深める機会となりました。



うちわボール渡し！皆でドキドキ！



いっしょに体を動かし、あっという間に仲良くなられた皆さん



動くカゴ（職員が背負い逃げまわる）へ玉入れ！白熱！



これからも多世代をごちゃまぜ地域交流を企画予定！

「熊本地震・平田震災遺構保存会」の濱田雅之会長に、地域交流の取り組みについて話を伺いました。同会は、熊本地震で甚大な被害を受けた平田地区の震災遺構を保存・活用し、地震の教訓を後世に伝えることを目的に活動しています。平田地区の住民が主体となり、震災遺構を巡るガイドツアーや保全活動を続けており、これまで約8年半にわたる地域おこしに取り組んできました。

濱田会長によると、社会福祉協議会の「地域福祉塾」への参加を契機に、他のボランティア団体との交流を望む気持ちが芽生えたといいます。



すっごく大きな栗 みつけた！

その流れの中で、広崎で活動する「住みたい町づくりふれあい会」（森田俊彦代表）とつながり、栗拾いイベントが開催されました。イベントに先立ち、会のメンバーが栗山の草刈りを行い環境を整備しました。当日は、株式会社華笑 なのはな保育園の園児の皆さんが参加し、秋の爽りを楽しみながら栗拾いに夢中になる姿が見られました。

今後季節イベントを予定されており、濱田会長は「震災遺構の保存活動に加え、地域交流を通じて人と人とのつながりを広げ、平田の良さを知ってもらいたい。担い手不足の課題もあるが、他団体の運営方法を学びながら活動を広げていきたい」と語りました。



軍手に Tong とげとげに気をつけて そ〜と



立派な栗が、た〜くさん取れました！

# サロン応援隊



シャボン玉とミュージック♪



手を入れ替えて～

## 地域福祉課

10月1日(水)から4回にわたり、益城町保健福祉センターはびねすでサロン応援隊養成講座を開催しました。

講師に熊本県レクリエーション協会の上野祥子理事長、熊本ミュージックケア研究会の本田晶子代表を招き「サロンサポーターの説明と円滑なコミュニケーション技術」「多世代交流のレクリエーション技術」「介護予防のレクリエーション」「ミュージックケアの実践」をテーマに、12名の参加

者と楽しい実践を交え、ご講話いただきました。

「失敗してもいい！まず自分が楽しむこと、大声で笑うことが大切」と熱意をもって伝える姿が印象的でした。

参加者からは「サロンでもやってみよう！」「教えてもらったことを忘れないようにメモ」などの声が聞かれ、早速各地域で実践を予定しています。

笑顔で地域サロンを盛り上げます！

## 認知症サポーター養成講座

### 地域福祉課

10月14日(火)再春館製薬所、10月23日(木)東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスにて認知症サポーター養成講座を開催しました。

再春館製薬所では、オレンジイノベーションプロジェクト(会社組織で認知症当事者と一緒に、誰もが生きやすい社会をつくる取り組み)を行うにあたり、主となるメンバーの方々が受講されました。講座の途中には、グループワークを行い、認知症の方への対応に

ついて積極的に意見交換されました。

東海大学での講座では、学生だけでなく先生も受講され、認知症に関する基本的な理解をして頂きました。

益城町社会福祉協議会では、町内の企業、学校、各種団体だけでなく、仲良しグループ、友人、家族・親族など、5人以上仲間が揃えば、認知症サポーター養成講座を開催します。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

認知症になっても、安心して暮らせる町へ



再春館製薬所での受講生のみなさま



東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパスでの受講生のみなさま

# 介護支援専門員連絡会

## 総務課

### 研修を通じて学びを深め、より良い支援へ

11月18日（火）町会議室において、主任介護支援専門員研修会に参加しました。

今回のテーマは「医療との連携」でした。益城病院より、病院の取り組みや体制について説明された後、日頃の訪問における対応事例や、要望について、皆で共有でき、有意義な時間となりました。

初期相談時の相談先の紹介や、地域連携室の対応、緊急時の相談体制について早期の相談、役割分担をする等をグループワークでも

振り返り、業務の中に活かしていきたいと感じました。

介護支援専門員は、本人や家族と共に急遽、相談先を探したり、入院先を探したりする事もありま。様々な情報を収集しながら、必要時の対応が出来る様、研修を通じて学びを深めています。



意見交換も行っています



しっかりメモを取り学んでいます

# 福祉座談会

## 在宅福祉課

### 馬水団地で開催！

10月21日（火）に馬水団地の集会所で福祉座談会を開催しました。団地の役員をはじめ、民生児童委員、地域福祉委員、地域包括支援センター、役場職員に参加により、当協議会のコミュニケーションソーシャルワーカー（CSW）の役割と地域との連携について説明し、団地の現状と課題について話し合いました。

馬水団地は、役員の成り手不足について、団地の実状に合わせ規約をつくり変え、役員の役

割を明確にして、団地運営がやり易くなるように検討されているそうです。また、住民同士の交流が広がるよう集会所の積極的な活用を望む意見も出ました。

#### 【馬水団地のみんなの畑】

座談会の当日、団地内の畑に足を運び、茄子とピーマンが今年の暑い夏を乗り越えて、深まる秋の光を浴びて旬の終わりを告げるように実っていました。



団地役員の成り手不足等について、皆で意見交換しました



町営団地で唯一、団地内に入居者が活用できる畑があります！

# 高齢者の生きがいづくり ～班長紹介～

## シルバー人材センター

### 【剪定班】

前田美千男さん



日頃から剪定のご依頼ありがとうございます。剪定班は男性6名で頑張っております。年末もたくさん受注を頂いており、待たせることも多いのですが、要望に添えるように日々頑張っております。気持ちよくお正月を迎えて頂きたいと思っております。

### 【草刈班】

大森藤喜さん



いつも草刈りのご依頼ありがとうございます。今年もたくさん依頼を頂きお待たせしご迷惑をおかけしておりますが、日々頑張っておりまして草刈をしております。来年もどうぞよろしくお願致します。

### 【一般作業班1班】

村崎直樹さん



1班の紹介を少しさせていただきます。男性11名女性2名合計13名です。年代も60代後半から80代前半まで幅広い層となっております。作業内容としまして現在は、農家さんの収穫の手伝い（大根、ニンジン）、ニラ切りや苗床作り、米の粃摺り等で、年間を通して作業を行っています。他にも一般家庭の草取りも行っております。みんな元気に楽しみながら頑張っています。

### 【一般作業班2班】

西坂勝幸さん



男性11名女性5名合計16名です。2班は皆さん一生懸命で時間も惜しみなく働いております。何事もみんなで話し合いながら決めており、休憩時間も和気あいあいと楽しみながら作業しています。

### 【一般作業班3班】

山本紀昭さん



男性16名女性4名の合計20名の大所帯で活動しています。元気の良い会員が多くみんな一生懸命に楽しみながら作業しています。主に一般家庭の除草や草集め、粃摺り等を頑張っております。今年同様来年もよろしくお願致します。



仲間同士のコミュニケーションを大切にしています



今年度の班長さんです！ 皆さまのご依頼おまちしております！



毎月の班長会議で安全就業確認、依頼確認等を行っています

# 社協情報報

## ◇CSW

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)は、どこに相談すべきか分からない悩みや困りごとを受け止め、支援機関や制度を活用して解決を目指す、地域・身近な相談員です。ご相談は、高齢・障がい・子ども・生活困窮などの分野にとらわれず、包括的に受止めます。お困りごとお悩みごとはCSWへご相談ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

## ◇生活困窮者自立支援事業

日々の生活の中での不安や、困りごとをお聞かせください。一人ひとりの状況に合わせた支援内容を一緒に考え、専門の機関・団体と連携して、解決に向けた支援を行います。

何か気になることがありましたら、気軽にご連絡ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

## ◇第3回 男のたまり場

### 「コーヒーの美味しい淹れ方講座」開催

#### 淹れ方講座

毎日のコーヒー、もっと美味しく淹れてみませんか？この講座は、コーヒーの基本を学びながら、男性同士で気軽に集まる「たまり場」です。

当日は、ぜひご自身のお気に入りの「マイカップ」をお持ちください。

日時／12月20日(土) 15時～16時

参加費／無料(町内在住の男性6名程度)

※12月5日(金) 申込締め切り

場所／復興まちづくりセンターにじいろ

(住所／益城町宮園702)

問／地域福祉課

☎096-214-5566



お気軽にお問い合わせください。お待ちしております！

## ◇もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安の解決と一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。

相談日／12月16日(火)

①13時30分から

②14時30分から

③15時30分から

場所／役場1階相談室D

※事前予約制です。

問／地域福祉課

☎096-214-5566

## ◇シルバー人材センター会員募集

現在、事前予約制の入会説明会を実施しています。活動内容についてのご相談も可能です。興味のある方は、事前にご連絡ください。

日時／随時(平日9時～16時)

場所／保健福祉センター内事務所

(住所／益城町惣領1470)

問／シルバー人材センター

☎096-289-6092



ご夫婦での入会も大歓迎！  
お待ちしております！  
(写真は会員の加藤夫妻)

## ◇心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとから、土地や相続などの法律に関することまで相談を受け付けています。お気軽にご相談ください。

※予約不要(相談対応中の場合はお待ちいただくことがありますので、あらかじめご了承ください)

日時／毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

場所／役場1階相談室D

住所(益城町宮園702)

※相談員は左記の表をご覧ください。

問／在宅福祉課

☎096-214-5566

※相談員は変更になる場合もあります。

日程	専門相談員	相談員	
12月3日(水)	松尾英美 (司法書士)	西島隆子 (民生児童委員)	
12月10日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	堀内敦子 (人権擁護委員)	小田照美 (民生児童委員)
12月17日(水)	松尾英美 (司法書士)	滝川朋子 (人権擁護委員)	岸崎澄英 (民生児童委員)
12月24日(水)	松尾 一 (行政書士)		高田義親 (民生児童委員)
1月7日(水)	松尾英美 (司法書士)		海野秀夫 (民生児童委員)

～つながる地域・住みよいまち～

# 地域サロン

町内の各地域サロンでは、高齢者をはじめ、地域の人々が楽しく集える場づくりが盛んに行われています。また、介護予防や閉じこもり防止、見守り、仲間づくり、社会参加を目的とした活動にも取り組んでいます。

## 田中茜会



楽しく健康づくりがモットーです

平成21年7月から開始され、毎回10名ほどの参加があります。「いつまでも健康に」を意識して楽しくサロンを開催されています。

開催日／毎月第3水曜日

時間／10時から

場所／田中公民館



モルックチーム対決！

## 平田さわやかサロン



講話から演奏まで、活動の幅が広いサロンです

平成21年1月から始まったサロン。和やかな雰囲気笑顔溢れるサロンです。介護予防講話や音楽演奏など多彩な内容を企画されています。

開催日／毎月第2木曜日

時間／14時30分から

場所／平田教育集会所



みなさん健康意識高い系！

## 地域を支えるふくしの輪

### セブン-イレブン・ジャパン寄贈

11月4日、熊本県社会福祉協議会を通じ、食料品及び生活用品の寄贈を頂きました。同社は2017年8月より、店舗改装時などに発生する在庫商品の一部を寄贈する取り組みを継続されています。この活動は、地域福祉の推進と同時にフードロス削減にも大きく貢献するものです。

今回は、同社の職員有志の皆さまからの温かいご厚意による食料品や生活用品等も寄贈されました。お寄せいただいた品々は、生活に困窮を抱える世帯や、当協議会が展開する地域福祉活動において有効かつ大切に活用させていただきます。

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します」



食料品と生活用品を寄贈頂きました

2025

12

No.333

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則

〒861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領1470  
益城町保健福祉センター「はびねす」内  
TEL/096-214-5566 FAX/096-214-5567  
ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

